

## はじめに

大阪府内では、約 200 の識字・日本語教室において、約 3,800 人の学習者が、約 2,700 人の学習支援者とともに「よみ・かき・ことば」の学習活動を行っています。

「よみ・かき・ことば」を学ぶことは、個々のコミュニケーション能力を高めていくことにとどまらず、生活者として他者とつながり、自分らしく生きていく上で必要な力を獲得していく営みであり、その活動を支える学習支援者とともに学び合い高め合う社会的な活動です。

この調査は、大阪府内の識字・日本語教室を対象に、教室における活動状況の実態や現場の課題、ニーズを把握するために実施したものです。今回の調査は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響がある中、市町村識字・日本語学習担当課の協力を得て実施しました。

識字・日本語教室の関係者をはじめ、行政や大学・NPOなどにおかれましても、この調査が御参考になれば幸いです。

最後になりましたが、本調査に御協力いただきました関係者のみなさまに改めてお礼を申し上げます。

令和4年9月 26 日  
大阪府教育庁  
市町村教育室地域教育振興課

# 令和3年度識字・日本語教室活動状況調査 目次

---

1 調査の概要	1
2 調査結果	
(1)教室の位置づけ	3
(2)運営形態	3
(3)教室の開催状況	4
(4)学習者・学習支援者の募集状況	5
(5)新型コロナウイルス感染症による教室への影響1(学習者数・学習支援者数)	5
(6)学習者について	6
(7)教室の活動内容	10
(8)教室での活動形態	11
(9)教室で使用している学習教材	13
(10)教室での費用の徴収	16
(11)一時保育等の対応	17
(12)学習支援者について	18
(13)学習支援者への謝金・交通費	20
(14)学習支援者の募集方法	20
(15)各種研修	21
(16)新型コロナウイルス感染症による教室への影響2	26
(17)コーディネーター	28
(18)教室の広報	29
(19)行政に求めたい支援	30
(20)教室を運営していく上での課題	31
(21)教室活動の理念や活動していく上で大切にしていること(自由記述)	35